



岐阜県から委託を受け  
(一社)技の環が  
運営しています

「匠の国ぎふ」の

伝統技術をつなぐ

ご相談承ります



支援します

現場の課題解決を

製作などに携わる方々の

伝統工芸品の

文化財の保存修理や

「後継者を育てるため、  
助成金を申請したい」

「特定の製品や部品を作ってくれる  
木工職人を探したい」

たとえば

人

技の環

「特殊な用途の道具を  
作りたい」

「古い道具を修理したい」

「材料の入手を森林組合や  
自治体に相談したい」

「代替材料の性能を  
試験したい」

原材料

道具

…など

ご相談は、技の環のウェブサイトの  
入力フォーム・メール・お電話へ

URL: <https://ginowa.org>  
MAIL: [contact@ginowa.org](mailto:contact@ginowa.org)  
TEL: 080-4401-6872



相談事例

人



師匠と弟子間のコミュニケーション改善を図るために定期的に聞き取りを行ったり、後継者育成に向けた仕組みづくりの相談に対応するなど、伝統技術を次世代へとつなぐお手伝いをしています。

道具



写真の鵜舟造船用の鋸のような特殊な道具を作る県内外の鍛冶職人を探して紹介したり、全国の打刃物産地をつないで連携会議を行ったりして、道具の持続的な供給に努めています。

原材料



関伝日本刀の鍛錬に欠かせない松炭、飛騨春慶や東濃の曲げわっぱに用いるヤマザクラの樹皮、岐阜和傘の骨を作るためのマダケなど、原材料に関わる調査や安定供給のための仕組みづくりを行っています。

豊富な専門知識や人脈を持つスタッフが対応



久津輪 雅

岐阜県立森林文化アカデミー教授(木工)。長良川鵜飼用具を作る職人の後継者育成や岐阜和傘の材料確保活動を支援。木工、手道具などに知見を持つ。



村田 明宏

旧岐阜県工業試験場研究員、岐阜県工業技術研究所所長などを歴任。NPO法人飛騨漆の森プロジェクト副理事長。伝統工芸品産業、刃物産業、漆工技術などに知見を持つ。



大滝 絢香

令和元～5年度まで岐阜県文化伝承課「匠の技を支える道具の保存伝承事業」調査員として、聞き取り調査、報告書作成、データベース化などを担当。



岡田 和佳奈

東京国立博物館で生涯学習支援に携わったのち、伝統的工芸品産業振興協会にて、伝統工芸士認定や伝統的工芸品表示の事業を通じて現場を支援。

支援の流れ

相談受付

スタッフができる限り現地へ赴き課題を聞き取ります

情報提供

解決につながる情報を提供したり関係する人や組織につなぎます

詳細調査

短期間で解決できない内容が必要に応じて詳細調査を実施します

課題解決支援

後継者の募集、原材料の確保、道具の調達など、課題解決をお手伝いします